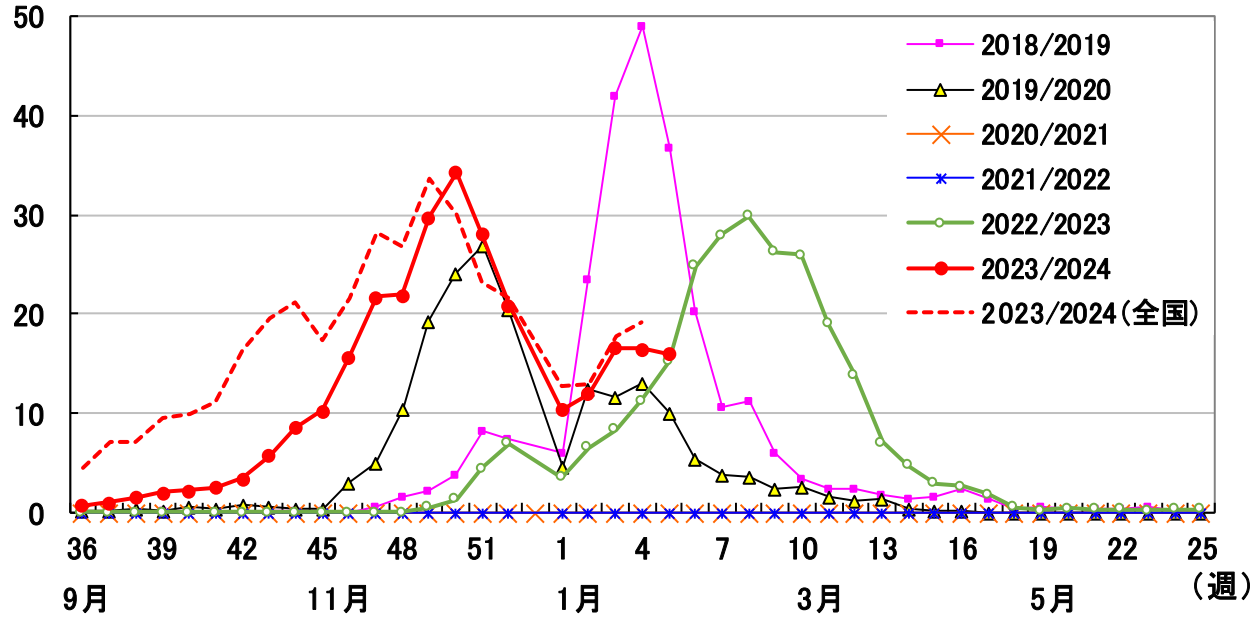


# インフルエンザの発生状況(富山県)

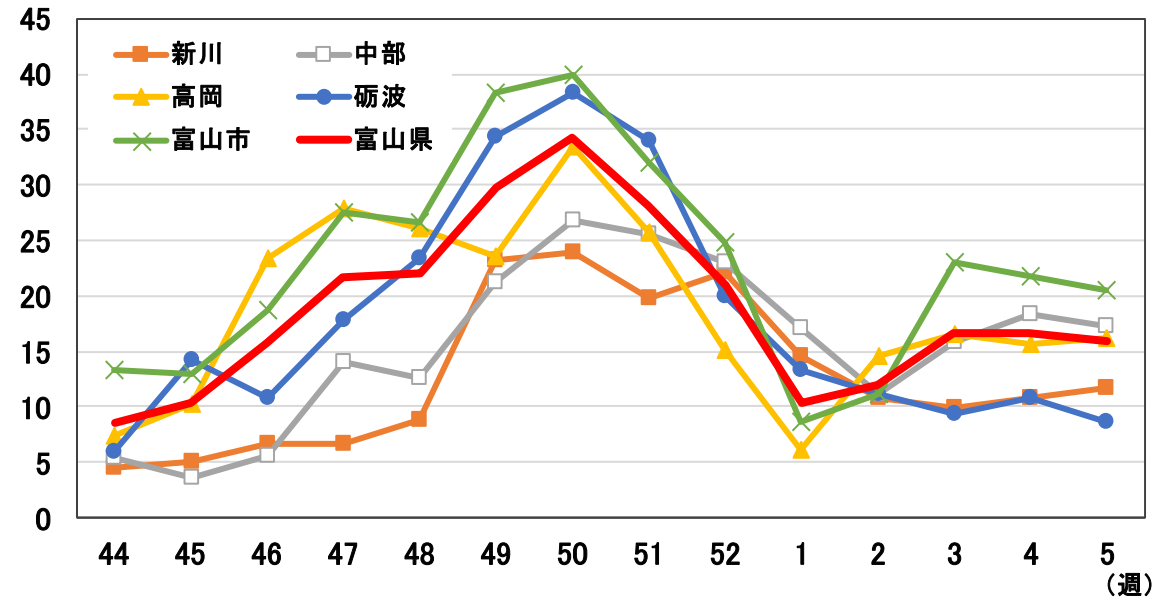
【第5週(2024/1/29~2/4) 感染症発生動向調査速報値 (2024/2/7時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第5週) **16.00**人/定点となり、先週(16.56人/定点)から横ばいであった。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、すべての管内で先週からほぼ横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第5週)

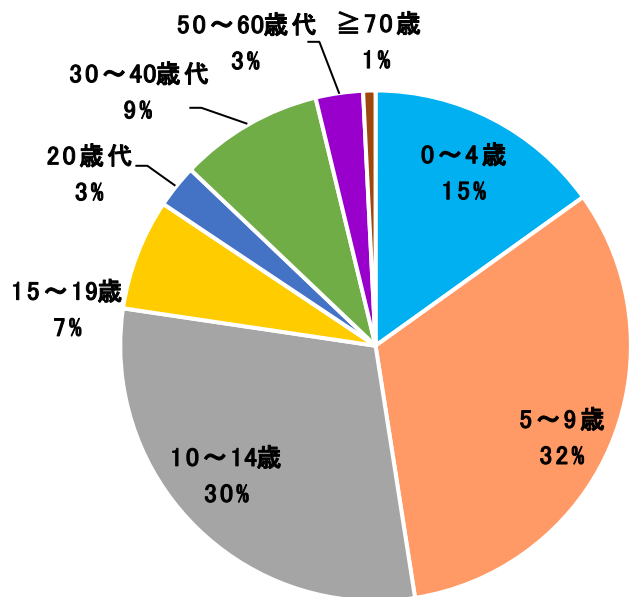
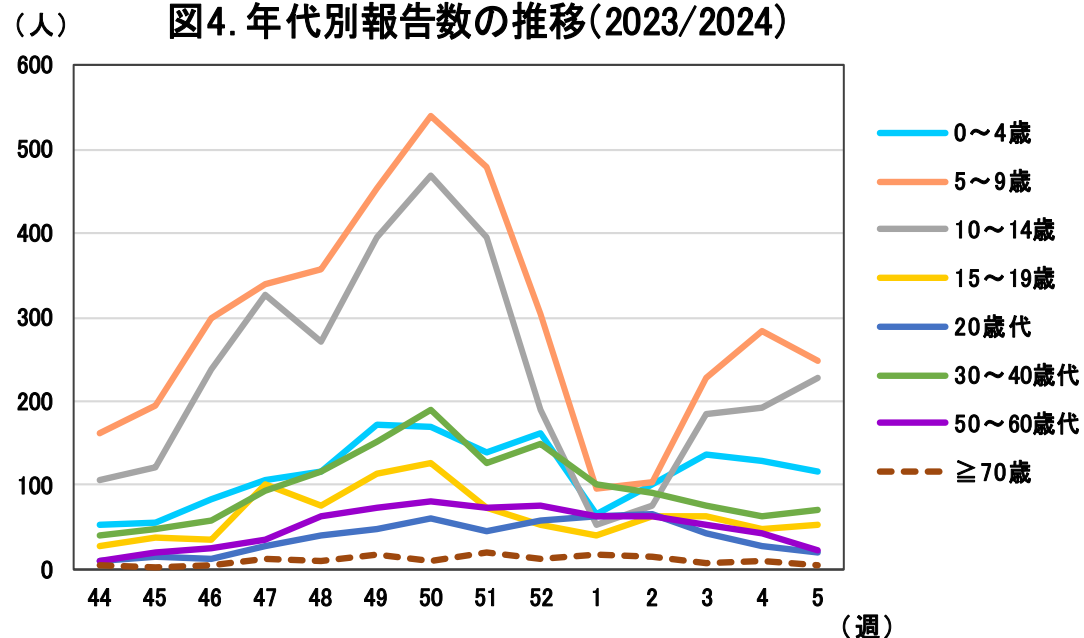


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第5週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が77%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、10~14歳（灰色）の年代が先週から増加した。その他の年代では減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第5週に36件（小学校24件、中学校8件、高等学校4件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第4週)

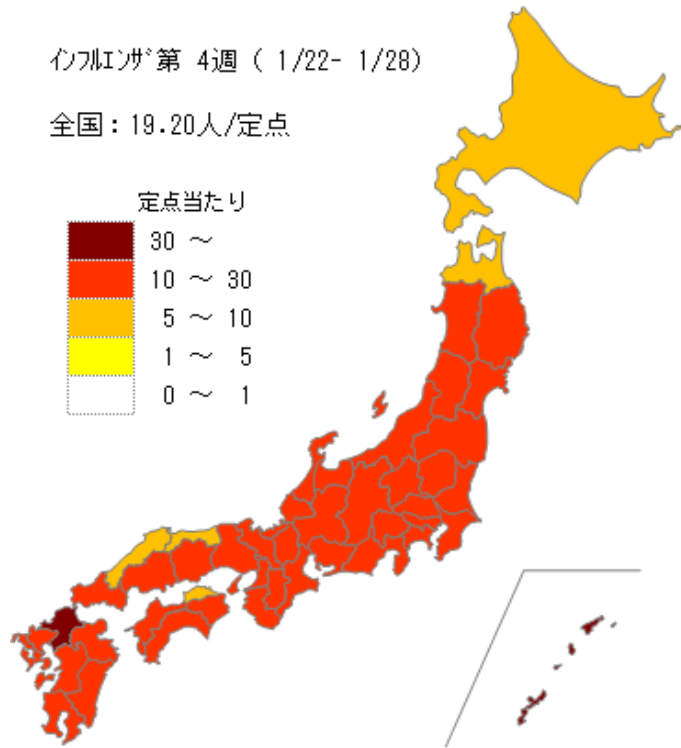
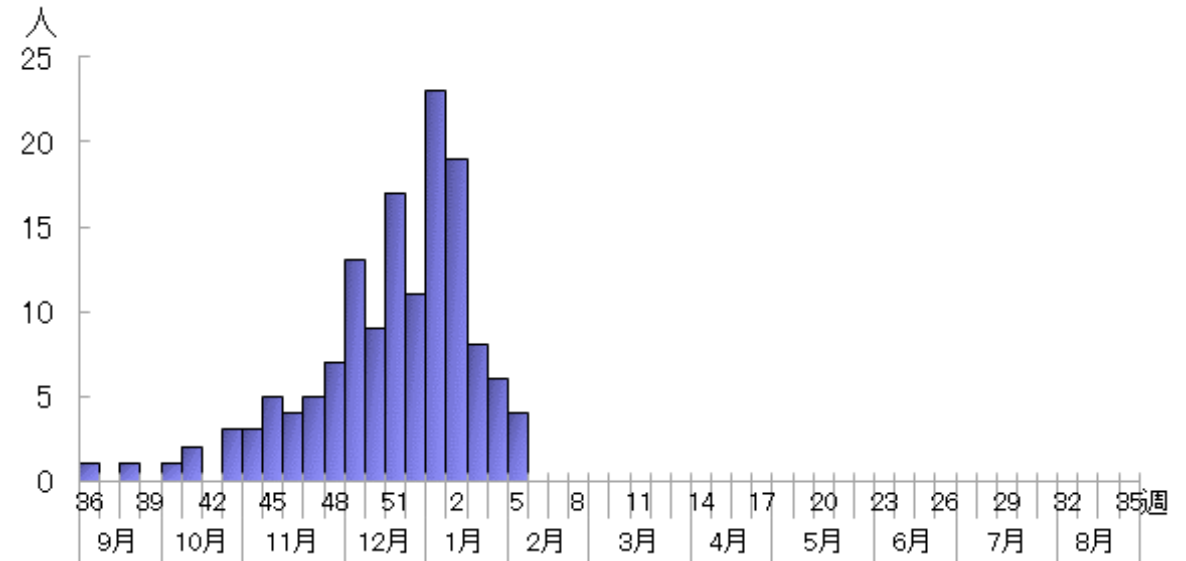


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第5週)



- 全国では第4週に19.20人/定点となり、第3週(17.72)から増加した。都道府県別(図5)では、42都府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図6)では、第5週に4例の報告(10歳代:1例、70歳代:2例、80歳以上:1例)があった。
- インフルエンザ定点の患者報告数は先週から横ばいであったが、B型の割合が今週は19.7%に増加した(先週10.9%、[富山県感染症発生動向速報2024年第5週](#))。引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。